

NPO 法人空港に於ける RFID 技術普及促進連絡会  
NPO Airport RFID Technology Alliance (ARTA)

2019 年度 通期事業報告  
(概要版)

2020 年 6 月

ARTA 事務局

## 目 次

### 1. 一般報告

- (1) 会員の状況
- (2) 役員等
- (3) 会の運営

### 2. 活動報告

- (1) IATA 関連
- (2) 2019-SITA-Baggage-IT-Insights 和訳
- (3) 実証試験サポート(2019) (NEDO 省エネ事業関連)
- (4) 実証試験用 RFID 手荷物タグ(NEDO 省エネ事業関連)
- (5) 到着手荷物追跡システム実証試験
- (6) 第 1 回手荷物 ONE ID による手ぶら旅行(空港 MaaS)意見交換会
- (7) RFID 導入による到着手荷物追跡情報システム要件整理作業
- (8) その他

### 3. 2019 年度収支報告(2019.4.1－2020.3.31)

#### ■ 添付資料 (詳細版参照)

- (1) 会員リスト(2019.3.31 版)
- (2) 第 9 回通常総会議事録・状況報告会資料
- (3) 状況報告会(2020.2.10 中部空港)資料
- (4) IATA AGM75 RFID 手荷物タグ導入に関する資料
- (5) IATA BWG 関連資料
- (6) 購入 IATA 図書目次
- (7) 2019-SITA-Baggage-IT-Insights\_和訳
- (8) 実証試験サポート(2019)報告書一式
- (9) 到着手荷物追跡システム実証試験資料
- (10) 第 1 回手荷物 ONE ID による手ぶら旅行(空港 MaaS)意見交換会資料
- (11) 2019 年度収支報告書(2019.4.1－2020.3.31)

## 1. 一般報告

### (1) 会員の状況

会員数 2020年3月31日現在  
団体会員 19社  
個人会員 1名  
特別会員 1社

団体会員 (会員リスト記載順)  
(株)エージーピー  
(株)デンソーウェーブ  
トーヨーカネツソリューションズ(株)  
日本信号(株)  
マイティカード(株)  
川崎重工業(株)  
三機工業(株)  
凸版印刷(株)  
ジック(株)  
佐川印刷(株)  
OKOBAN S.A.  
ナクシス(株)  
日本電気(株)  
(株)三景  
エイブリー・デニソン・ジャパン(株)  
トッパン・フォームズ(株)  
ビジョン ボックス ジャパン (2019年5月入会)  
アライゾンジャパン(株) (2019年10月入会)  
(株)セイコードー (2020年2月入会)

#### 個人会員

井上 麻衣

#### 特別会員

埼玉大学 長谷川・間邊研究室

### (2) 役員等

会長	水野 一男	株式会社デンソーウェーブ
理事	小澤 昭夫	トーヨーカネツソリューションズ(株)
	波多野 啓介	OKOBAN S.A.
	門谷 良己	(株)エージーピー
監事	北村 剛一	三機工業(株)
顧問	長谷川 孝明	埼玉大学教授
	荒尾 和史	前 中部国際空港(株)顧問

小林 勝春 新関西国際空港エンジニアリング(株)  
常務取締役  
福田 朗 前 ARTA 会長

### (3)会の運営

以下の通常総会及び状況報告会を開催し、会の運営について協議を行った。

- ・2019年6月25日 第9回通常総会・状況報告会
- ・2020年2月10日 状況報告会（中部空港実証実験視察含む）

## 2. 活動報告

### (1)IATA 関連

#### ①2019年6月1日～3日 IATA 第75回年次総会

第75回年次総会にて、「RESOLUTION ON RADIO FREQUENCY IDENTIFICATION (RFID) IN BAGGAGE」が決議された。

##### <決議概要>

- ・航空会社はバーコードから RFID へ移行することを確約する。
- ・RFID で得られた手荷物トラッキングのデータを手荷物事故の削減に活用する。
- ・4年以内に世界的な RFID の展開が成し遂げられるとしている。

##### <今後の IATA の対応>

- RFID 基本インフラの導入について、
- ・年間旅客数 2,500 万以上の空港: 10 か所。
- ・年間旅客数 1,000 万以上の空港: 4 か所。
- ・2019 年から航空会社、空港に対し RFID 導入の個別協議開始。

#### ②第43回 Baggage Working Group 会議

5月7日にリオデジャネイロで開催された。  
ARTA は、不参加。IATA 議事録を添付する。

#### ③IATA 図書購入

- ・Passenger Services Conference Resolutions Manual 39 版 (PSCRM)  
Effective 1 June 2019 – 31 May 2020  
データ版購入
- ・Airport Development Reference Manual 11 版 (ADRM)  
Effective March 2019  
データ版購入

#### ④第44回 Baggage Working Group 会議及び RFID WORKSHOP

2019年9月24日にフランクフルト空港にて開催された第44回 BWG 会議及び同25日に開催された RFID WORKSHOP に波多野理事が参加し、RFID 手荷物タグ最新動向等について情報を収集を行った。

##### <会議概要>

##### ・BWG44

当会議は航空業界の手荷物取扱いに関する技術的な指針を協議策定するために開催された。主な目的は IATA メンバーである航空会社によって提出された議案を審議、推進することと、手荷物取扱いに関する strategic partner を含めた、最新の情報を共有すること。現時点で手荷物に関しては Reso753 の履行、手荷物タグの RFID 化、手荷物メッセージの XML 化が重要な課題となっている。今回の開催は Lufthansa Group と Fraport のホストによるもの。

参加者: 航空会社 20 社、空港会社 8 社、IATA/ SkyTeam その他 Partner 団体など計約 90 名、日本からは NAA/北川様、大河内様、ANA/沼本様、ARTA/波多野の 4 名が出席。

- ・RFID WORKSHOP

IATA BWG 44 に合わせ、Fraport のホストで RFID WORKSHOP が以下の内容で開催された。先般の IATA AGM75 で決議された RFID タグ導入に向けた活動の一環で、航空会社、空港会社に対し、RFID 導入に向けた啓蒙活動である。

⑤ RFID SWG ジュネーブ (Face to face meeting)

2020 年 2 月 12 日～13 日に、ジュネーブ IATA 本部で開催された RFID SWG 会議 (Face to face meeting) に波多野理事が参加した。

<会議概要>

- ・前回の BWG44 で懸案となった RFID 関連事項の協議。
- ・RFID による手荷物取り扱いに関して、航空業界内の現状の説明と、今後の進め方についての協議であった。
- ・13 日に、波多野理事が NEDO プロジェクトのプレゼンを実施した。  
空港と航空会社の責任、コスト配分に対して、両者の協力のもとに実施した実証実験として、ひとつの解を示した形となり、今後の RFID 導入にあたっての参考事例としてとらえられた。

(2) 2019-SITA-Baggage-IT-Insights 和訳

SITA より発行された、2019-SITA-Baggage-IT-Insights の和訳を行い ARTA 内情報共有した。

(3) 実証試験サポート(2019) (NEDO 省エネ事業関連)

(株)デンソーウェーブ様より、NEDO 省エネ事業関連として、「実証試験に係る空港会社／航空会社／システム会社、及び、海外空港／関連機器メーカーとの協議サポート、および、IATA Baggage WG における電子タグ運用仕様策定検討に対する対応(2019)」業務を受託し実施した。

・実施期間 2019.4.1～2020.2.28

・対応項目(2019 年度)

調査先	調査日	備考
・HKG 出張(ANA 及び香港空港公団協議)	2019.5.22	
・リスボン出張(Vision Box 打合せ)	2019.7.22-23	Vision Box 社本社
・IATA BWG44・RFID WORKSHOP(フランクフルト)	2019.9.24-25	
・AF 協議・CDG 視察*	2019.9.26-27	
・IATA RFID SWG ジュネーブ会議	2020.2.12-13	
・SBD 設置取合い等サポート検討図作成	2019 年度対応	
・システム接続系統概念図作成	2019 年度対応	
・実証試験運用フロー検討資料作成	2019 年度対応	
・RFID 手荷物タグ事前試験実施	2019 年度対応	
・RFID ラインアンテナ設置フレーム(電波遮蔽シート取付含む)基本デザイン図作成	2019 年度対応	
・SBD 用有人カウンタデスク製作指示書作成	2019 年度対応	
・実験期間中間問合せ電話対応(日・英・中 3 か国語対応)	2019 年度対応	
・実証実験報告ビデオシナリオ作成及び英訳	2019 年度対応	

・受託額 5,746,541 円(税別)

(4) 実証試験用 RFID 手荷物タグ(NEDO 省エネ事業関連)

(株)デンソーウェーブ様から ARTA への発注で、NEDO 実証試験向けに RFID 手荷物タグの供給を行った。ARTA メンバーに発注し納品した。

- ・SBD 用 RFID 手荷物タグ 2250枚 トッパン・フォームズ(株)
- ・有人カウンタ用手荷物タグ 9450枚  
トッパン・フォームズ(株)  
(半数 AveryDenison 製インレイ使用)  
ナクシス(株)  
株三景

(5) 到着手荷物追跡システム実証試験

ARTA 主催の実証試験として、香港空港発中部国際空港着 ANA 便にて、到着手荷物追跡システム実証試験を実施した。

- ・試験期間 2020.1.24 ~ 2020.2.3
- ・実施場所 中部国際空港国際線到着エリア
- ・対象フライト ANA NH876 香港到着便 (19:00 中部国際空港着)
- ・試験概要 香港国際空港で取り付けられる RFID 手荷物タグを、中部国際空港到着コンベアに設置した RFID アンテナで自動読取りし、到着クレームコンベアに設置したモニタ(50インチ)及び本試験向けに開発したスマホ表示用アプリをダウンロードいただいた旅客のスマホに、到着手荷物情報の表示を行う。
- ・実施者 ARTA 事務局、(株)デンソーエスアイ、埼玉大学
- ・協力 全日本空輸(株)、中部国際空港(株)、香港国際空港(株)
- ・結果概要 実運用に於ける当該システム構築に関する知見を得た。  
IATA RFID SWG にて航空会社と空港の役割分担について評価を得た。

(6) 第 1 回手荷物 ONE ID による手ぶら旅行(空港 MaaS)意見交換会

航空手荷物電子タグの高度化利用については、IATA(International Air Transport Association) 第 75 回年次総会(2019 年 6 月開催)で手荷物トレーサビリティの義務化(IATA Resolution753:2018 年 6 月義務化)への対応を図ることが求められた。国内では、航空旅客の利便性を向上させる取り組みとして 2019 年度より出国税を財源とする空港関連の施策が展開されている。また、経済産業省・総務省・国土交通省による MaaS(Mobility as a Service)の地域先行試験が開始されている状況である。

この様な状況を踏まえ国土交通省・経済産業省による MaaS 先行実験及び観光庁・国土交通省の推進する FAST TRAVEL 施策企画への連携を志向すべく「手荷物 ONE ID による手ぶら旅行(空港 MaaS)意見交換会」を立ち上げた。

産官学連携のもと関係者に参画いただき、新千歳空港を起点とした空港 MaaS に関する意見集約を行い観光庁へ上申することを目的とし、ARTA は事務局を担当する。

- ・第 1 回会議 2019.12.4 札幌市内会議室にて実施。

(7) RFID 導入による到着手荷物追跡情報システム要件整理作業

成田国際空港(株)空港計画部様より、成田国際空港における RFID 手荷物タグ活用具体策の一つとして、到着手荷物追跡情報システムの実施要件に対する整理作業を受託し事務局にて対応した。

- ・実施期間 2019.11.22~2020.3.26

・受託額 1,793,660 円(税込)

(8)その他 (事務局対応)

- ・千葉県 NPO 法人室、県税事務所及び成田市役所へ、平成 30 年度事業報告書等を提出し受理された。
- ・千葉地方法務局本局へ、理事の変更(重任)の登記届けを提出し受理された。
- ・成田市役所へ、平成 31 年度法人税減免申請を行い受理された(県税事務所は法人税減免申請免除となった)。

3. 2019 年度(2019.4.1－2020.3.31)収支報告

(2020.3.31 時点)

	合計金額	内 訳		備 考
収 入	20,359,129 円	会費	1,950,000 円	
		銀行利息	24 円	
		H30 年度繰越金	720,806 円	
		その他収入	17,680,299 円	「その他収入内訳」参照
支 出	15,496,717 円	支払手数料	39,794 円	
		通信費	367,871 円	電話、インターネット、郵送等
		保守・修繕費	0 円	
		事務用品費	1,295 円	
		備品購入費	0 円	
		消耗品費	36,475 円	
		交通費	322,710 円	顧問交通費
		雑費	138,007 円	登記証明書発行費、会議飲料、名刺
		その他支払	14,590,565 円	「その他支払内訳」参照
残 額	4,862,412 円	-	-	

「その他収入」内訳

	合計金額	その他収入内訳		備 考
その他収入 内訳	17,680,299 円	NPO 事業収入	9,504,000 円	航空局 海外空港先進事例調査(H30 年度実施)
		NPO 事業収入	8,176,299 円	NEDO 省エネ事業関連

「その他支出」内訳

	合計金額	その他支払内訳		備 考
その他支払 内訳	14,590,565 円	航空局 海外空港先進事例調査関連	7,844,480 円	H30 年度実施
		NEDO 省エネ事業関連	5,237,687 円	IATA BWG 関連出張費含む
		空港 MaaS 意見交換会関連	552,755 円	第 1 回会議開催(札幌)対応
		IATA 関連図書購入	204,228 円	PSCRM39th ADRM11th
		営業活動費	751,415 円	

残額 4,862,412 円は 2020 年度活動費へ繰越とする。